

2016 キューバ友好フォーラム

10月22日(土) 13:30~16:30 開場 13:00

参加費 1000円(会員 500円) ★事前申し込みは必要ありません

会場 **日本記者クラブ大会議室** TEL 03-3503-2721 東京都千代田区内幸町2-2-1 日本プレスセンタービル9階
最寄り駅は東京メトロ千代田線・日比谷線霞ヶ関駅、東京メトロ丸ノ内線霞ヶ関駅、都営三田線内幸町駅、JR新橋駅日比谷口

専門家がゆく キューバ医療・医学の現場

講演1

グローバルヘルスから見た★キューバ

きた きよし
北 潔さん

長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科教授・研究科長

1951年生まれ。東京大学薬学系大学院博士課程修了。東京大学理学部・植物学教室助手、順天堂大学医学部・寄生虫学教室講師、イリノイ大学客員研究員(1988年9月まで)、東京大学医科学研究所・寄生虫研究部助教授、同大学院医学系研究科国際保健学専攻生物医学化学教室教授、同医学部健康総合科学科学科長(2008年4月~2011年3月)、同大学院医学系研究科副研究科長・副医学部長(2011年4月~2015年3月)を経て現職。



完全に魅入られてしまい…2度目のキューバ訪問

本年(2016年)7月28日から8月4日まで、十数名の仲間と「福祉フォーラム・ジャパン」とのグループ名でキューバを訪問してきました。目的もメンバーの背景も大変に多様で、福祉施設長、リハビリテーション関係の医師、看護師、助産師、報道関係、大学の教員などなど。中南米が初めての方もいれば、JICA(国際協力機構)の専門家で長年中南米に滞在していた方まで、本当に様々な背景のメンバーでした。唯一共通していたのは、キューバに対する興味と優しい心持ちでした。

私は薬学部出身で、生化学という基礎生命科学の分野で研究を進めてきました。いわゆる「試験管振り」です。いろいろな偶然と必然の結果、寄生虫学の分野に入ることになりました。そして30代前半の時、それまで予想もしていなかった南米パラグアイに、JICAの医療協力プロジェクトのリーダーとして家族とともに赴任することになりました。

それ以来、中南米の明るい雰囲気とスペイン語(ほとんど話せませんが)が大好きになり、何かきっかけがあると中南米に行きたいと思うようになりました。キューバには以前、中南米の寄生虫学会に参加し、マラリアをこの地域でいち早く撲滅したこの国の公衆衛生、クラシックカー、葉巻、ラム酒……に完全に魅入られてしまいました。

今回、大変にまじめで、しかも楽しいメンバーと一緒に2度目のキューバ訪問の機会がありましたので、専門としている感染症・グローバルヘルスの観点から感想を述べてみたいと思います。



講演2

キューバと日本★医療の違いを考える

やすだ きよし
安田 清さん 掛川東病院整形外科/静岡県掛川市

ただキューバの医療は素晴らしい、という話で終わるのではなく、日本の医療者として、日本の医療との違いを考え、それを日本に伝えることは大事だ、という気持ちがあり、なぜ私がそう思うか、ということをお話したいと思います。

どなたでも自由に参加できます♪

お問い合わせ FAXかe-mailでキューバ友好円卓会議へ

e-mail: cuba.entaku.0803@gmail.com FAX 03-3415-9292